

ボランティア・  
NPOの情報誌

# ひび

67号

Apr. 2024

## とくしま県民活動プラザ

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地

沖洲マリンターミナルビル1F

tel:088-664-8211 fax:088-664-5345

e-mail:info@plaza-tokushima.com

https://www.plaza-tokushima.com

休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日、年末年始)



マスコットキャラクター プラザ

## CONTENTS

特集 NPO法人 ほっとハウス  
優しい想いがあふれるまちに

ひと BG kids トクシマ 代表 中西 裕子さん  
ボードゲームが人をつなぐ!

シリーズ この人から  
一般社団法人 リボンズ 代表 大谷あおいさん  
はじめまして、リボンズです

事業紹介 「ゆめバンクとくしま」  
寄付による助成事業の活動報告

ハートリレー  
No.67 小川さんから池田さんへ



# NPO法人 ほっとハウス





# 優しい想いが あふれるまちに



ダウン症の長女が支援学校の卒業を迎えた時、働く場はほとんどありませんでした。そこで、ないなら自分たちで作るしかない、保護者仲間の協田さんと地域共同作業所を開所。その後NPO法人を設立し、現在は地域活動支援センターとして運営しています。

現在は、12名の通所者メンバーが毎日にぎやかに通って来ています。みんなで作業をしていると「こんなことで笑えるん?!」ということが日々起こり、面白くてお腹を抱えて笑ってしまいます。たとえ他で辛いことがあっても、ここでみんなの屈託のない笑顔を見れば、たちまちに忘れてしまいます。私はそんなメンバーのことが大好きでたまりません。メンバー全員愛すべき子どもたちです。

ほっとハウスでは、菓子や手芸品の製造、喫茶運営、小学生との交流会など様々な活動をしています。常に私たちが大切にしていることは地域との交流です。私たちは、地域のみなさんにお世話にならないと生活していけません。困っていたら声を掛けてもらえる関係であることが大事です。ですから、私たちも地域のみなさんが困っていたら、出来ることはどんどんお手伝いしようと思っています。地域と一緒に生きていきたいというこの想いは、活動当初から変わっていません。

そして、ほっとハウスの強味はとにかく団結力!!メンバー、保護者、スタッフ、ボランティアのみんなが、まるで家族のような関係で、どんなことにも協力的です。本当にありがたいことだといつも感謝しています。

私たちは、障がい者のことを正しく理解して欲しいと思っています。そして、障がい者に対する誤解や偏見がなくなることを心から願って活動しています。

以前、小学生との交流会に出向いた時のこと。児童の前に並んだメンバーを見て、ある1年生の子が「へんな顔」と言いました。その時は正直少し悲しかった。でも、後日その子から送られてきた感想文には、「メンバーの奏でるキラキラ星のきれいな音を聞いて涙が出そうになりました。へんな顔と言ってごめんなさい。」と書かれていました。嬉しかったです。たくさん交流の場を増やして、もっともっとメンバーのことを知ってもらいたいと思いました。

そしていつの日か…優しい想いで地域があふれかえるといいな、なんて思いながら今日もメンバーと作業をしています。みなさん、一度コーヒーを飲みに来てください。一緒にほっとしたひと時を過ごしましょう。とびっきりの笑顔でお待ちしております。



まつもと ちづる  
理事長 **松本 千鶴**さん

わきた あさみ  
理事 **脇田 麻美**さん

私がほっとハウスに関わるようになったのは25年前。娘が支援学校を卒業するにあたり、障がい者でも働ける作業所を探しましたがなかなか見つからず、友人であった同じ境遇の松本さん（現理事長）と「自分たちで娘たちや障がい者が楽しく働いていける作業所を作ろう!」と団体を立ち上げたことがきっかけでした。

支援学校では机の上での作業が苦手な娘でしたが、ほっとハウスに通うようになって手芸やお菓子づくりなどの経験を積んでいくうちに、実践的に物事を覚えられるようになりました。今では時計も読めるようになったので、通勤バスに乗る時間を自分で計画して出かけられますし、食事時には自発的に配膳もお手伝いしてくれるのでとても頼もしいです。

気になることをあえて言えば、私も団体を立ち上げた時のように若くないので、体力的に厳しい時もあること。でも、子どもたち同士が楽しみ生き生きと働いている姿を見ていると、私も元気にみんなと楽しみながら、ずっとずっと大好きなほっとハウスに関わっていきたいなと思います。



娘がほっとハウスに通い出した時から活動のお手伝いをしています。娘も私もこの場所が大好き♡楽しみながら通っています。

ほっとハウスでは、毎日の作業だけでなく、手話コーラスやダンス等を交流会で披露することがあります。楽しみながらの練習は生活にも変化が生まれ、子どもたちには良い刺激になっているようです。

そしてとにかく保護者同士仲がいい。お互いの悩みを共有できるのも心強いし、イベントなどで一致団結した姿はまるで1つの大家族のようです。

以前、バス通勤している娘がバスを乗り間違え、小学生が声を掛けてくれたことで助かったことがありました。それから数日後、一人で横断歩道を渡っているお年寄りを見かけた娘は、なんと自らお年寄りの手を取って、ゆっくりと一緒に渡ってあげていたそうです。今度は自分が助ける番だと思ったのでしょうか。すごい成長だと涙が出て止まりませんでした。

常に子どもたちのことを一番に考え、愛情深く接してくれる松本理事長のおかげで、安心して子どもを通わせることができます。そんな理事長をこれからも出来る限りサポートしていきたいと思っています。



保護者会会長

かこう みほこ  
賀好 美穂子さん



## 日常作業

メンバーが、雑貨作り、菓子作り、接客を毎週交代で担当しています。



心を込めて作った焼き菓子は、甘さ控えめでおいしいと評判です。

## 音楽・芸術活動



2001年から毎年出展している「徳島障がい者芸術祭 エナジー」では、これまでに、エナジー賞やかみなぎき賞を受賞しました。音楽や芸術活動を通して、広く社会と交流し、障がい者に対する正しい理解を呼びかけています。

## 活動紹介

### 知的障がい者の防災準備事業



ヘルプマークが刺しゅうされた防災リュックと手作りのコミュニケーションカード



徳島市との協働事業として、毎年テーマ(1年目「自助」2年目「共助」3年目「公助」)を決めて2018年から3年計画で取り組みました。

いざ災害が起こった時にどんな困難が生じるのか勉強し、ワークショップを通してどういった準備をすべきなのか学びました。

### 地域ふれあい「ほっとまつり」



2000年から開催されている、ほっとまつりは、毎年たくさんの方が来て大盛況。今では、地域にはなくてはならない行事になっています。

特定非営利活動法人  
**ほっとハウス**  
理事長 松本 千鶴

住所：770-0047 徳島市名東町2丁目420 TEL：088-633-8121  
定休日：土曜日・日曜日・祝日 営業時間：10:00～16:00  
H P：http://npo-hothouse.com  
Mail：hot8121@me.pikara.ne.jp



ホームページ▶



# ボードゲームが人をつなぐ!

## 今回お話を伺ったのは子ども向け室内ゲーム普及ボランティア団体「BG kids トクシマ」代表の中西裕子さんです

2人の子どもの持つお母さんである中西さん。家族で遊ぶために購入したボードゲームでしたが、自身はあまり購入数が段々と増加していき、気が付けば、毎週家族団らんの定番に。ヨーロッパ(特にドイツ)では家族で遊ぶ文化があり、徳島でもボードゲームの楽しさや文化を広めたいと思うようになったそうです。まずは、PTAや地元での草の根活動からスタート。当時はコロナ禍で感染症対策などに留意しながらのゲーム会でした。新聞で取り上げられたこともあり、大学生や興味をもったボードゲーマーとのつながりが生まれました。これがのちに『徳島ゲームストリート』というコミュニティの誕生になりました(現在250人ぐらい参加)。子どもの居場所にボードゲームがあれば遊びが豊かになるのではと、『BG kids トクシマ』へと活動の幅を広げ、学童クラブや小学校等からの依頼も多くなっています。子どもの得意分野や興味は様々。子ども向けだけでなく、あえて難しめの作品を準備されるようです。「選択の幅を子どもに委ねることで、興味の飛び級が生まれることもあります。ルールを間違えても細かい点は指摘しません。その場に合った独自のルールを作り、枠にあてはめず楽しむということが一番大事なんです。」一方、依頼の増加に伴い、ルール説明等のお世話をするスタッフが足りていないため、現在スタッフ募集中です。

中西さんは自身の性格を「おせっかいで、いらんお世話をやいてしまう」とおっしゃいます。ボードゲームへの熱い思いや人を巻き込むその原動力はどこから来ているのでしょうか。「ボードゲームの魅力は対面の良さ、テーブルを囲んでみんなで楽しむ食事と同じ。プレイを批判する人が少なく、お互いを認め合う人が多い。ボードゲームを通じて出会いをつくれるのが喜び。」と情熱が止まりません。ゲーム会には大学生、地方議員、保育士など様々な職種の方が集まります。人と人との出会いが、様々な企画を生み、地域の活性化へつながっています。周囲のサポートもあり、やりたいことが実現できる今を楽しまれているようです。県内様々な場所に足を運ばれる中で、地域の抱えている課題に気づくこともあり、ボードゲーマーによる社会貢献の可能性を模索されています。

今後は、遊びの中に学びの場を提供し、お得感を感じてもらいたいとのこと。防災、環境など、敷居が高いテーマも遊びを通してなら自然と知識が身につきます。また県内各地でボードゲームファンを増やすことにより、新たなコミュニティ誕生のきっかけにつなげたいそうです。夢は「ボードゲームを勧めてくるおばさんがいるぞみたいな都市伝説」になること。ボードゲームの将来について語る中西さんは本当に楽しそうでキラキラ輝いていました。

(取材：森口・近住)



### BG kidsお問合せ先



徳島ゲーム  
ストリートHP



Facebook



Instagram



X  
(旧Twitter)

BG kids トクシマ 代表

なかにし

中西

ひろこ

裕子 さん



# はじめまして、リボンズです



公認心理師・臨床心理士  
公的機関で女性相談や福祉部門に携わる。現在は  
カウンセリングオフィス  
フラミンゴにて、トラウマを抱える女性のケアを行っている。  
2020年3月より現職。

おおたに

一般社団法人 リボンズ 代表 大谷あおい

リボンズは若い女性たちが、学校や家庭、社会で居場所がなく、大人たちに搾取されている現状を伝えるために東京の一般社団法人が行っていた企画展「私達は買われた展」を徳島で開催するために集まったのが始まりです。有料であったにもかかわらずたくさんの方から実状への驚きと支援への思いが寄せられました。そこで単回のイベントで終わるのではなく、継続して活動していこうと2020年3月に立ち上げました。現在は、思春期青年期の方々に向けて、啓発活動やLINE相談などを思春期ピアサポーターの方々と連携して行っています。思春期ピアサポーターとは、養成講座を受けた大学生が、ピアの立場から話を聞いたり、一緒に考える活動を行うものです。

思春期は社会に向かっていく中で、自信が少なくなる時期であり、青年期はそのような中で社会にでていくこともあり、迷ったりこれでいいのかと悩んだり、人と比較して落ち込んだりすることも多い年代でもあります。家族と行き違いや対立が起きたり、友達や自分の中に葛藤を持つこともあるでしょう。声をかけてくる大人の中には悪い大人もいます。そういう人につながる前に、お声をきかせていただけたらと思います。

※ピアサポーター 同じような立場の人によるサポート、支え合い



## 「ゆめバンクとくしま」寄付による助成事業の活動報告

「ゆめバンクとくしま」では、団体、個人からの寄付を助成金として活用し、社会貢献活動に役立てています。今回は、令和5年度の活動報告(その2)です。



### テラ子屋さなぎ

#### 「つなぐプロジェクト」

子どもたちの自由な発想や想像が認められる空間を作り、安心して過ごしてもらうことで、自発性や想像力が育まれる体験活動を実施した。



### NPO法人 牟岐キャリアサポート

#### 「牟岐町防災サークル × 大学生 防災キャンプ」

牟岐町の小中高生が参加する牟岐町防災サークルで、宿泊型の炊き出し訓練等に取り組む防災キャンプを実施した。



### BG Kids トクシマ

#### 「ボードゲーム等室内ゲーム文化の普及啓蒙活動による徳島県の子供の能力向上と地域活性化事業」

子どもたちに良質な遊びを提供し考える力を育てたり、コミュニケーションを通して子どもたちと地域の人々を繋げる体験イベントを開催した。



### NPO法人 文字情報支援ひこばえ

#### 「映画等字幕作成と投影」

映画に字幕を付けることにより、聴覚障がい者や高齢の方にも映画を楽しんでもらった。



### NPO法人 自然派志向 NATURAL & NATURE

#### 「隣の農家」



放置竹林が問題となっていることから、事業のフィールドを竹林とし、竹を間引いてチップに粉碎する作業等を行い、子どもたちに森林環境教育を行った。



No.67 小川さんから池田さんへ



ボランティアドッグ育成センター 理事  
いけだ きみこ  
池田貴美子 さん

## 「ラッキー」を呼び込む達人

「私っていつもついとるんよ。いつもラッキーが勝手に来てくれる」。これが貴美子さんの口グセ。最初に聞いた時は、なんと大袈裟な、と。でも、同じチームで過ごすうち、本当にそうだと感じるようになりました。

直感で「楽しい」と感じたら即トライ。とにかく叩いてみる、踊ってみる。いつも好奇心に満ち、自分の感情に素直。ステージで彼女が黄色い声で叫んでくれるだけで、パッと気分が明るくなり、元氣と自信が湧いてくるのです。

元々は、主婦業の傍ら、聴導犬の育成施設の理事を任されたり、趣味で手話通訳をしたりしたそうです。そのスキルを買われ、子育てが終わったタイミングで社会人として初就職。「全部、ほんまにいつも恵まれとんよ」と幸せそうに話す姿に、私までわくわくします。

サンバチームは今年結成5周年を迎えます。新しいチャレンジを前にウジウジしている私に「失敗したって大丈夫、とにかくやってみたらええんで」。そうやって明るく励ましてくれる貴美子さんは、本当にありがたい存在です。どうかこれからもよろしくね。



おがわ かなよ  
文・小川佳奈代

## とくしま県民活動プラザ

- プラザ開館時間 開館時間：10:00～18:00  
【研修室利用時間】 火曜日～土曜日：10:00～21:00  
日・祝日：10:00～18:00  
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、  
年末年始(12/29～翌1/3)



### ● 公共交通機関をご利用の場合 ●

- JR徳島駅前、徳島市営バスターミナルより、
  - ・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリントーミナル」下車すぐ
  - ・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリントーミナル前」下車すぐ

## 貸メールボックス・貸ロッカー 利用団体募集!

こんなときに…

- ★ 団体間の情報交換
- ★ プラザからの連絡文書の受け取りなど
- ★ 会議に使う資料や作業に使うコピー用紙・文具の保管

※ 利用には団体登録が必要です。  
※ 一年ごとの更新が必要です。

### ● メールボックス

大きさ(A 4サイズ対応)  
W23.6cm×D31.8cm×H6.9cm

### ● ロッカー

大きさ(A 3サイズ対応)  
W24.8cm×D42.4cm×H39.7cm

## 編集後記

能登半島地震から始まった2024年もあつという間に3か月近くが経ちましたが、地震のニュースはお正月気分にとどっぷりはまっていた時だったので慌てましたね。皆さんは、普段から災害時に必要な物を備えていますか? 食料、飲料は3日分が必要と言われていいます。家族との連絡方法や避難経路の確認などもしておいた方がいいですよ。明日来るかもしれない南海トラフ巨大地震に備えましょう!!

## CLEANUP アドプト・プログラム吉野川



参加団体募集!!

HPIはこちらから↓



吉野川交流推進会議

徳島県庁 生活環境政策課内  
TEL:088-621-2743 FAX:088-621-2758